

# 上関原発を建てさせない山口大集会 2026

さよなら上関原発！  
私たちは福島を忘れない！

# 2026.3.28 土

入場無料  
雨天決行

10:00~14:00 (9:00 開場)

会場 山口市 維新百年記念公園・野外音楽堂  
山口市維新公園四丁目1-1

核のゴミ・中間貯蔵施設は、  
山口県・瀬戸内海を破滅させる。  
原発・核に頼らない地域を  
未来につなごう！

宇部市西岐波の病院から上関町祝島・長島を望む。  
海にも空にも、放射能から守る壁はつくれません。

## プログラム

※手話通訳あります

### ★ビッグシエル (10:00~11:50)

【9:00 開場 / 9:30 音楽開始】

- 開会の挨拶 基調報告
- 福島からの報告 (原発賠償関西訴訟原告団代表 / 森松明希子さん)
- 特別報告・「核のゴミ」の脅威と瀬戸内海  
(「はんげんぱつ新聞」の編集長 / 末田一秀さん)
- 田布施町議会議員・柳井市議会議員  
上関町議会議員からの報告
- パフォーマンス

### ★三段池周辺 (~14:00 まで)

- 楽しいマルシェ 出店者募集

祝島の特産品のヒジキやびわ茶、  
上関の寒ボラを使った寒ボラ弁当・ボラサンドがあるよ！  
全県から素材や製法にこだわったキッチンカーも集合！  
野菜、お米の店も！子どもたちが遊べるキッズコーナー、  
展示、雑貨屋さんなどなど。食べて、楽しんで、学ぼう！



出店希望の方は  
こちらから



## 会場 MAP



山口市維新公園四丁目1-1  
JR 矢原駅より徒歩で15分  
山口県庁より車で約15分 / 小郡インターより車で約10分

主催 / 上関原発を建てさせない山口県民連絡会

共同代表 / 木村力 (祝島島民の会) 内山新吾 (弁護士)

事務局長 / 原康司 (アウトドアガイド) 問い合わせ / 080-6331-0960 (安藤)

県民連絡会



よろしくお願いたします /

この集会の経費は、  
すべてみなさんからの  
カンパで賄われています

【郵便振替】01360-1-89742

【ゆうちょ銀行】15550-21615251

店名: 五五八 (ゴゴハチ) 普通貯金

名義: 山口県民大集会実行委員会

# ずっと住みよい、帰れる故郷、 安心して子育てできる山口県を次の世代に引き継ごう

「結婚して東京に出た娘が、夫と山口県で子育てをしたいと言って準備を始めた。しかし、中間貯蔵施設の計画を知って、逆に私に東京に出てこいと言っている。どうしたものか？」

「定年になったら山口に帰ろうと思うが、帰れなくなる故郷にしてほしくない」

「平生町に移住を考えていましたが、計画を知って萩市か阿武町に変えようと思いますがどうですか。友達からは250km圏内は同じこととされています」



なぜ関西電力の  
使用済み核燃料を山口県の上関町に  
持ってくるのでしょうか？

福井県・関西の全ての府県・自治体で  
危険だと断られたからです。

原発より安全ではないですか？

原発の危険と使用済み核燃料乾式貯蔵の危険は、簡単に比較するのは難しいと思われます。収容容器(キャスク)に入れる使用済み核燃料の方が、プルトニウムなどが新たに生まれた「死の灰」のため臨界・核の暴走の可能性が高いのです。上関に計画されているのは、広島原爆の6万~8万倍に相当します。

地域を住みたくなり、帰りたくなる故郷にして、  
若者を呼び寄せたいが、どうしたらよいのでしょうか？

山口県全体が、田布施町議会や柳井市議会のように、核のゴミ施設に依存しない、住民の声をいかした道を選ぶことが大切ではないでしょうか。瀬戸内海の自然が壊され、人が住めなくなってから文句を言ってもどうにもなりません。今なら間にあります。県内の全域から声を上げましょう。

「中間」というから  
「短期」ではないのですか？

説明では「50年間保管」といっています。青森の六ヶ所再処理工場へ持って行く予定が27回も延期しており見通しがたっていないので、中間とは名ばかりで「永久施設」になってしまいます。

原発によって電気は安定し、  
電気代が安くなるのでは  
ないのですか？

原発がなくても電力は足りています。事故対策のために原発建設のコストは、あがっています。その負担は、電力料金と税金から補填されているのが実際です。

ネットパレードに参加して  
あなたのメッセージを世界に届けよう!!

1. メッセージボードをネットからダウンロード  
(もしくは手書きでもOK)  
上関原発建設反対の思いを書き加えます。
2. 「原発反対」などの声を上げながらボードを掲げます。
3. その様子を写真に撮り、  
県民連絡会のメールアドレスに送ってください。  
stopkaminoseki@gmail.com

ネットパレードの詳しい情報、  
ボードのダウンロードや、写真等の送付はこちら  
<https://stopkaminosekinetparade.xyz>



## ○ 福島からの報告

森松明希子さん プロフィール



2011年3月11日、福島県在住中に東日本大震災および東京電力福島原子力惨禍に被災。当時0歳と3歳の2児を連れて同年5月に大阪府へ母子避難。国内外で原発被害者の人権、「被ばくからの自由」について訴え続ける。原発賠償関西訴訟原告団代表・原発被害者訴訟原告団全国連絡会共同代表。2019年「黒田裕子賞」・2024年「女性リーダー支援基金」受賞。著書は『母子避難、心の軌跡』、『災害からの命の守り方ー私が避難できたわけー』

## ○ 特別報告

「核のゴミ」の脅威と瀬戸内海

末田一秀さん プロフィール



全国各地の市民・団体が情報共有して自らの運動に活かそうと1978年から毎月発行している「はんげんぱつ新聞」の編集長を2022年から務める。「核のごみキャンペーン関西」、「上関に原子力施設はいらない兵庫の会」メンバー。元大阪府職員(環境行政担当)。著作に「関電の核ごみをなぜ山口県へ」など。